

小網代の森と干潟を守る会  
**小網代 森と干潟つうしん**



森も海も干潟も 奇跡の集水域生態系を未来の子どもたちへ  
**小網代の森と干潟を守る会**  
〒238-0111 神奈川県三浦市初声町下宮田 261-5  
代表 高橋 伸和 E-mail: info@koajiro-higata.com  
TEL.046-889-0067 (仲澤)  
URL: http://www.koajiro-higata.com  
年会費：一般会員 ¥1000 賛助会員 ¥5000 (入会金不要 7月～6月)  
郵便番号：00260-4-21569 小網代の森と干潟を守る会

## 第 25 回小網代の森と干潟を守る会 総会

1990年6月に「小網代の森を守る会」が発足し、その後、時代の要請を反映させる形として2011年に会の名称を『小網代の森と干潟を守る会』に変え、此処に節目の第25回の総会が盛大に開催されました。また、当会の機関紙〔小網代通信〕は、すでに135号の発行となっております。

さて、この森は、これまで幾多の困難を乗り越えて、約70haの保全整備が完了し、長年、夢を抱いてきた目標が去る7月20日にめでたく達成され、歴史的オープンとして一般開放されました。ここに、その総会の概要を簡単に報告いたします。

まず、当会代表の高橋伸和氏の挨拶として

- ① 小網代の森は、長年の念願が叶って7月20日に一般者へのオープンとなりました。
- ② 当会の発足当初から企画運営の主軸としてご活躍されてこられました岸 由二さんが、今後は主にNPO小網代の活動に専念したいという意向もあり、スタッフとしてはご退任されることになりました。
- ③ 今後も従来と同じようにNPO小網代の支援をしつつ、当会としての使命をわきまえて、これからは森の保全というよりは、森で楽しむという方向で進めたいと思います。
- ④ その意味で、本日は総会終了後《守る会25周年記念～森歩き》を計画いたしましたので多数の皆さんのご参加をお待ちしております。

続いて総会の議事は、2013活動報告及び決算報告、今後の守る会の果たす役割を踏まえた2014年度活動方針案、予算案、スタッフ案、会則の一部改正案につきましては、原案どおり承認されました。

(まとめ:鈴木清市)

### 第一部総会

日時 2014年8月31日(日) 13時30分から 14時

場所 南下浦市民センター 京急三浦海岸駅 下車1分

全体 司会進行(松下景太)

開会挨拶 (高橋伸和)

### 第一部 第25回小網代の森と干潟を守る会総会

議長選出 (加藤利彦)

資格確認 (松原あかね)



## 議事

第1号議案 2013年度活動報告案(鈴木カヲル、ジポーリン菜穂子)

第2号議案 2013年度決算報告案(宮本美織)

同 監査報告案(櫻井秀真 代理:竹内晶子)

第3号議案 2014年度活動方針案(橋美千代)

第4号議案 2014年度予算案(宮本美織)

第5号議案 2014年度スタッフ案(高橋伸和)

第6号議案 その他

## 議事一括審議

### 議長解任

休憩15分

## 第一号議案 2013年度小網代の森と干潟を守る会活動報告 2013年7月から2014年6月

### 2013年

- 7/6 大磯のアオバトと相模川河口&七夕飾り遠足
- 7/20 小網代 森と干潟つうしん No.129 印刷・発送 (於 横須賀市市民活動サポートセンター)  
スタッフ会議
- 8/5 三浦半島まるごと博物館連絡会 参加 (於 横須賀合同庁舎)
- 8/10 第116回自然観察&クリーン「カニのあかちゃんといこにちは! アカテガニの放仔」
- 8/23 富士ゼロックス夏祭り 出展
- 8/25 午前 スタッフ会議。総会準備  
午後 第24回総会 (於 初声市民センター)
- 9/14 小網代 森と干潟つうしん No.130 印刷・発送 (於 横須賀市立 市民活動サポートセンター)  
スタッフ会議
- 10/12 第117回自然観察&クリーン「野鳥観察“カワウと公害”」
- 10/28 三浦半島まるごと博物館会議 出席 (於 横須賀合同庁舎)
- 11/16 小網代 森と干潟つうしん No.131 印刷・発送 (於 横須賀市立 市民活動サポートセンター)  
スタッフ会議
- 12/7 第118回自然観察&クリーン (小網代干潟の冬の植物)  
スタッフ会議 (於 出口商店)
- 12/13 のたろんふえあ 2014 説明会参加

### 2014年

- 1/12 小網代 森と干潟つうしん No.132 印刷・発行 (於 横須賀市立 市民活動サポートセンター)
- 2/1 きらら賞授賞式 出席 (於 新横浜)
- 2/3 三浦半島まるごと博物館連絡会参加 (於 横須賀合同庁舎)
- 2/8.9 のたろんふえあ 2014 出展
- 2/15 第119回自然観察&クリーン「小網代の早春の海藻と磯の生きもの」大雪のため中止 駅前対応
- 2/21 のたろんふえあ 2014 反省会 出席
- 3/2 日本ナショナルトラスト協会全国大会 参加 (於 四ツ谷)
- 3/29 小網代 森と干潟つうしん No.133 印刷・発送 (於 横須賀市立 市民活動サポートセンター)  
スタッフ会議
- 4/28 三浦半島まるごと博物館連絡会 参加 (於 県総合庁舎)
- 4/29 第120回自然観察&クリーン「春・芽吹き 命にぎわう小網代の森と干潟」  
森の外周を歩いて干潟へ。石橋が通行止めのため神社前から干潟を通過して北尾根へ抜けるコースで実施。
- 5/11 小網代 森と干潟つうしん No.134 印刷・発送 (於 横須賀市立 市民活動サポートセンター)  
スタッフ会議  
鶴見川源流祭出展参加
- 5/31 日本ナショナルトラスト協会全国大会 参加 (於 四ツ谷)
- 6/14 第121回自然観察&クリーン「干潟のカニと生き物」  
スタッフ会議 (三浦市 総合福祉センター)
- 6/28 臨時スタッフ会議 開園祝い品製作作業他



## 第二号議案 2013 年度決算及び監査報告

収入の部				支出の部			
科目	予算額	決算額	差異	科目	予算額	決算額	差異
前期繰越金	1,142,285	1,142,285	0	通信費	70,000	67,834	2,166
会費収入	130,000	184,000	-54,000	交通費	30,000	21,720	8,280
売上収入	150,000	73,305	76,695	事務消耗品費	10,000	6,158	3,842
寄付金収入	200,000	115,080	84,920	研修費	10,000	0	10,000
森応援金収入	200,000	266,400	-66,400	会議費	80,000	68,448	11,552
預金利子収入	300	108	192	広報費	50,000	38,663	11,337
				諸手当	120,000	100,000	20,000
				諸会費	60,000	52,500	7,500
				仕入れ	100,000	13,000	87,000
				みどり寄付金	300,000	300,000	0
				開園準備金	100,000	15,808	84,192
				次期繰越金	892,585	1,097,047	-204,462
	1,822,585	1,781,178	41,407		1,822,585	1,781,178	41,407

### 財産目録

現金		86,557
三菱東京UFJ銀行 普通預金		41,438
郵便振替口座		465,958
三菱東京UFJ銀行 定期預金		503,094
合計		<u>1,097,047</u>

以上の通り報告いたします。

2014年 8月31日

会計 宮本美織 印

上記の通り相違ないことを認めます。

2014年 8月31日

会計監査 櫻井秀真 印

## 第三号議案 2014 年度活動方針

- 1、森と干潟での自然観察&クリーン活動の推進
- 2、森と干潟におけるNPO小網代野外活動調整会議の活動の支援
- 3、活動報告と自然を紹介する会報「小網代 森と干潟つうしん」の発行
- 4、公益財団法人かながわトラストみどり財団の普通会员及び小網代支援会員を増やす活動
- 5、ラムサール条約湿地の指定を目指す研修、啓発の活動

## 第四号議案 2014 年度予算

収入の部				支出の部			
科目	予算額	決算額	差異	科目	予算額	決算額	差異
前期繰越金	1,097,047	1,142,285	-45,238	通信費	100,000	67,834	32,166
会費収入	250,000	184,000	66,000	交通費	30,000	21,720	8,280
売上収入	100,000	73,305	26,695	事務消耗品費	10,000	6,158	3,842
寄付金収入	150,000	115,080	34,920	研修費	10,000	0	10,000
森応援金収入	270,000	266,400	3,600	会議費	80,000	68,448	11,552
預金利子収入	200	108	92	広報費	50,000	38,663	11,337
				諸手当	100,000	100,000	0
				諸会費	55,000	52,500	2,500
				仕入れ	20,000	13,000	7,000
				支払寄付金	300,000	300,000	0
				記念事業準備金	100,000	15,808	84,192
				次期繰越金	1,012,247	1,097,047	-84,800
	1,867,247	1,781,178	86,069		1,867,247	1,781,178	86,069

注1 支払寄付金は前年度はトラストみどり財団を指定していた。  
今年度はNPOに10万円の寄付、みどり財団に20万円の寄付を予定。

注2 開園記念および報道記録30年誌。

## 第五号議案 2014 年度スタッフ

代表 高橋伸和  
副代表 矢部和弘（広報） 小倉雅實（観察会） 仲沢イネ子（総務）  
総務 山本述子 築瀬公成 柳瀬博一 辻晴一 浪本晴美  
会計 宮本美織  
広報 橋美千代 松下景太 中井由実 橋ちひろ  
観察会 鈴木清市 菅野哲生 松原あかね 祖父川精治  
鈴木カブル ジボーリン 菜穂子 別府史朗 木皿直規

会計監査 竹内晶子

※ 会計監査の櫻井秀真さんが2013年度をもって退任されました。3年間ありがとうございました。

## 第六号議案 その他

第六号議案として会則の一部変更が提案され原案通り可決されました。

### 7. 財 政

本会は会費、寄付金収入により運営する。 → 本会は会費、寄付金収入等により運営する。

## 守る会 25 周年記念 森歩き！

ほぼ予定通り総会終了後、初秋の気配たっぷりの“小網代の森”を源流側から木道に沿ってのんびり散策しました。

参加者は、21名でしたが、それぞれ思い思いの森の楽しみ方をしていました。中には、この森を歩くのは初めてという方もいましたので、スタッフとして出来るだけのガイドをしました。

ここ数年、集中して行なわれた森の整備の結果、これまでとは違う、多様で新鮮な姿の森に変わりつつあります。

具体的には、小網代の森が持つ完結された流域という要因は変わらないものの、特に、小網代独自の植物相、中でも湿生植物の変化が、源流のイノデ群落から中流の湿原、干潟周辺、海岸という自然の中で今回整備された木道に沿って観察できるようになりました。

短い時間ではありましたが、好天に恵まれトンボ・チョウを中心とした昆虫とたわむれつつ、ハマカンゾウが咲き誇るエノキテラスまでの森歩きとなりました。

そこで、記念撮影をして、その後は各自気ままに、干潟の生物、秋の草花、野鳥観察などで楽しい時間を満喫されたことと思います。



☆～☆～☆～ いつかは小網代！  
そして いつまで小網代にいたい ～☆～☆～☆  
という流れが、これから出来ることを願っています。

(文、写真 鈴木清市)

## 会員広場

### 森の初歩きにご参加になれなかった方々からいただいたメッセージ

御無沙汰しております。  
かながわトラスみどり財団の  
会報で御活躍の様子を読ま  
せていただきました。このた  
びはご案内を頂戴しありがと  
うございます。

私事ですが、ただいま父親  
の介護に追われ、外出がま  
まならない状態です。残念な  
がら初歩きに参加することが  
できません。状況が好転いた  
しましたらご一緒させていた  
だきたく存じます。

「守る会」のご活躍を祈って  
おります。

K.S 様

お知らせ、ありがとうございます。  
最近、まだまだ若い  
のに膝と腰痛でみなさんと同  
じペースで森を歩くのはため  
らわれます。あとで、ゆっくり  
マイペースで歩く機会をと思  
います。

NHK ラジオ深夜便の H.P.  
のストーリーング放送で「明日  
へのことば」～娘の心を伝え  
続けて～で話をしています。  
8 月 11 日までいつでも聞け  
ます。よろしければ聞いて下  
さい。おからだ大切に

Y.H 様

オープニングセレモニー  
開催おめでとうございます。  
永年の活動でここまで粘り強  
く持ってこられたことすばらし  
いと、尊敬の思いです。  
せっかくおさそいいただいた  
のですが、当日、作業場の  
引っ越し等であわただしく動  
いており、予定がたちませ  
ん。残念ながら不参加とさせ  
ていただきます。皆様によろ  
しく。作業場を逗子沼間へ  
引っ越ししました、逗子インタ  
ーの近くです、機会がありま  
したら顔を見せて下さい。

I.S 様

ご連絡頂きありがとうございます。  
残念ながら欠席とさせていただきます。今後共よろしくおねがい申し上げます。  
頓首  
R.W 様

申し訳ありません、締め切りが過ぎてしまいましたが、お送りいたします。  
皆様のご尽力の賜ものですね。いつまでも良い環境でありますように、暑さの折、御自愛下さい。  
K.K 様

お知らせありがとうございます。わざわざ往復はがきでお便りを下さったのに、残念。地域防災の会議と備品取扱研修…という訳です。退職して何年も経つのに(経つから?)いろいろなことが毎日の生活に入りこんでいます。  
J.K 様

お知らせありがとうございます。陰ながら応援しております。  
H.S 様

20日の初歩きは、2日前の18日に切望していた手術を受けるので残念ですが、参加できません。一度も歩いたことのない小網代、秋など、いつの日か参加させて下さい。  
M.O 様

とても参加したいのですが、20日は都合が悪くて残念です。またの機会を願っています。  
S.O 様

ご連絡ありがとうございます。またおめでとうございます。当日は仕事が入りそうですみません。また寄らせて下さい。  
H.S 様

出席出来ず申し分けありません。  
ここまでの皆様のご苦勞が実り、特別保全地区として整備された小網代の森、さぞ、自然豊かな、貴重な地区になったことと思います。  
H.F 様

ご無沙汰しております。ご案内、ありがとうございます。2才6か月の息子連れでおじゃましたいところですが、7/20はあいにく先約があり、参加できません。また別の機会にぜひ参加させていただきたいと思います。  
皆様にも よろしくお伝えくださいませ。  
S.S 様

今回はお誘いありがとうございました。7/20は田舎へ帰る用事があり、参加できません。すみません。  
この8月に私も会社生活を終えることとなりました、月日の経つのは本当に速いです。ども、これからやりたいことは沢山あって、いつまでも元気にやれるとよいなあ、と思います。  
H 様

ご無沙汰致しております。ご案内をありがとうございます。ようやくオープンですね、おめでとうございます。7/19~20は、よんどころない所用で伊勢に行っておりま。その後、見に行きたいと思ひます。  
K.S 様

残念ながら参加することは叶いませんが、せつかく往復はがきを頂き、もったいないのでお手紙させていただきました。  
ここまで漕ぎ着けられたこと、本当に皆様の努力の賜物だと感服しています。私が小網代と出会って17年、リアルタイムに保全が実現へと動くとは思いませんでした。見事です。  
とは言え、このように脚光を浴びてしまうのは夕風の世界を愛するヨコハマファンとしては、正直微妙であることも確かですが…。どうか、これまで通りの雰囲気を残しつつ、新たな小網代の歴史が紡がれていくことを願っています。  
では、また森で。  
T.Y 様

三浦に越して来てすぐにMさんに小網代を案内して頂いたことを思い出します。今度は孫を連れて行く日がいつか来るでしょうか…  
A.S 様

あかてガニ見たいナア月夜の晩に一斉移動したりするの？  
チャンスがあったら参加させて下さい。ご連絡ありがとうございました。  
H.S 様

伺いたいのですが、先月ひざを痛めて、現在30分歩くのが限度、それでも  
— 翌日1日痛い — のです、口惜しいです。  
Y.M 様

いつもご連絡ありがとうございます。  
米田智恵子の娘、Sです。7月20日は残念ながら予定が入っており参加できません。母の写真をもって歩きたかったです。皆様のご努力が実り素晴らしい小網代の森が実現し、天国の母も喜んでと思います。時間ができましたら是非歩いてみたいと思います。子供が小さい頃家族でよく遊びにいった思い出深いところ。又何かこのようなイベントがある時はお知らせいただければ幸いです。お仲間の皆様によろしくお伝え下さい。晩年の母の人生のいきがいを与えて下さった皆様に感謝しています。  
R.S 様



御無沙汰しております。お元気にご活躍の様子何よりです。小網代の森へお誘い有がとうございます。残念ながら足を痛めて杖を頼りに歩く状況になっています。年令との事、くやしいですネ。そんな訳で一緒に出来ず、残念です。  
H.N 様

せつかくのお知らせ有難うございます。行きたいのですが7/20は前から入っていて残念です。  
A.S 様

ごぶさいたしてしております、お元気でいらっしゃいますか。小網代おめでとうございます。30年の皆さまの努力が実りましたね。  
今日は台峯歩き(毎月第3日曜)の日で小網代のセレモニーに参加できず残念ですが、小網代の森がこれからも、人の和を重ねて生きものがにぎわう場所として皆さまに愛されていくようお祈り申し上げます。それからが本当のスタートですね。新たな門出おめでとうございます。  
H.K 様



## 総会に寄せていただいたメッセージ

小網代の森一般公開おめでとうございます。永年のご努力の成果に敬意を表します。記念品をありがとうございました。

Y.O 様

7/20 一般開放初歩きは良かったです。幹部の方々に感謝します。岸先生のご案内、お話しは素晴らしかった。

R.W 様

先日の小網代の森初歩き、家族3人で参加させて頂きました。すばらしい場所でした。代表の方々の「力」だと感謝しています。

R.W 様

なかなか活動に参加できませんが、応援しています。

A.T 様

「つうしん」の充実ぶりに驚きと拍手です。

T.N 様

小網代の森オープンおめでとうございます。新しい森の散策ぜひ一度伺いたく思います。携わられた方々にカンパイです!!

N.U 様

名ばかりの会員ですが、記念品をありがとうございます。

Y.T 様

ご苦勞様です。

M.S 様

いつも小網代の森と干潟つうしんを送ってくださりありがとうございます。20日の様子が目に浮かぶようで、私も杖をついても歩きたい気持ちになりました。30年もの努力、頭が下がります。今後も森が守られることを、心より願ひ応援いたします。

M.T 様

お世話役の皆様ありがとうございます。今後共よろしく願ひします。

M.K 様

7月末に10数年ぶりに小網代に行きました。平日でしたので静かな森と干潟の時間を過ごすことができました。今日までの皆さんの活動に敬意と感謝の気持ちでいっぱいです。

K.O 様

長年にわたる活動ご苦勞さまでした。今年の活動に期待します。

M.E 様

7/19に歩いて来ました。素晴らしいですね。小網代だけでなく、県下の他の危機にある森も救いたいものです。

S.M 様

7月20日は御案内いただいていたのに行けなくて残念でした。

10月25日には参加したいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

新しくなった小網代を楽しみにしています。

M.F 様

長い間小網代の自然を守るために大きな努力を下さったことに感謝します。この頃行事に参加出来ないでいますが、前に観察したカニの放仔の様子は忘れません。

S.O 様

記念のキーホルダーありがとうございます。

S.T 様

通信を読んであらためて皆様のつみかさねてきたこと一がすごいなあと感じました。これからの管理もたいへんかと思いますが、美しい森がいつまでも、いつまでも大切にしたいです。キーホルダーありがとうございます。

K.K 様

いつもお世話になります。今後ともよろしく願ひいたします。

Y.F 様

スタッフの皆様いつもご苦勞様です。7月20日は参加できず残念でした。又の機会に是非とっております。キーホルダー有難うございました。

T.I 様

通信をいつも有難うございます。

N.M 様

森と干潟が今日のように守られましたのは、皆様のおかげと心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

K.T 様 S.T 様

すてきな記念のキーホルダー、ありがとうございます。小さな子も高齢者も歩ける森になりましたね。10年後も20年後も…訪れたいなあと思いました。

A.S 様

30年分の歩みは、木道を歩む小網代の保全、御骨折のことだったと思います。まだまだ続く保全ですが、小網代残って良かったです。

N.O 様

20年の成果、万歳 おめでとうございます。

K.Y 様

会員の皆さまのご健勝を祈念致します。

T.S 様

オープンに参加しました。引橋のバス停から森への標識が全くないのが気になりました。探して行くのも悪くないと思いましたが…。

K.D 様

散策路もできました。小網代の森がいつまでも生き物達にとって素晴らしいところであることを守って行って欲しいと思います。

T.F 様

素敵なキーホルダーをありがとうございます。小網代の森、整備され、訪れる人も増えることでしょう。

A.S 様

今後ともよろしく願ひいたします。

K.K 様

お世話になっております。

N.N 様

いつも御苦勞様です。

M.H 様

厚さ烈しい折、お身体大切に、…ご活躍くださいますように。記念品有がありがとうございました。

K.K 様

金沢より、小網代の森と干潟の自然が守られることを心より祈っております。

H.S 様

心ある皆様のご努力に感謝です。ありがとうございます。

K.K 様

日々のご活動、本当にご苦勞さまで。小網代の森一般開放記念のキーホルダーをいただき、守る会の皆さんが大切に見守っておられる“アカテガニ”をいつも身近にみる事が出来ます。スタッフの皆さまのご健康をお祈りしております。

H.F 様

記念品有難うございました。今までの活動に感謝致します。今後もより重要且つ大変な活動が期待されております。よろしく願ひ致します。

M.I 様

記念のキーホルダー等を送付いただき、ありがとうございます。今後、よろしく願ひ申し上げます。

S.S 様

随想 小網代でんてん⑬

いと愛しー糸トンボ

須田漢一

幼児（特に男の子）は大きなものが好きだ。

絵本の中の恐竜やマンモス。乗りものでは、蒸気機関車や電車、飛行機。昆虫はカブトムシ、ヤンマトンボなど。

高齢になった自分は、大きなものには驚かない。胆力がそなわってきたのではない。感動、感激、関心が薄れたからだ。氣力、体力が萎なえてきた、といってもよい。

反面、小さなもの、幼いものが好きになる。小網代干潟のチゴガニ、ダンスは楽しい。草はらで足もとに寄ってくるヤマトシジミも嬉しい。トンボでは何といっても糸トンボだ。マツチ棒くらいの細い体で上がったたり、下ったり、懸命に生きる姿は愛しい。

子どもの頃、オニヤンマを採りにいった川で糸トンボに出会い、何と可愛いんだろう、と河原に座り、いつまでも眺めていた覚えがある。その川は今、コンクリートブロックで護岸され、

丈高いフェンスが人を拒こはむ。

小網代の森で糸トンボを見たと言いたが、まだ出会わない。広い風景の中に小さな体からだが埋没して、飛んでいるのに見えないのか、個体数が少ないのか分からない。シオカラトンボ、サナエトンボ、アサヒナカワトンボ、ヤンマトンボ、赤トンボ類を見かけるのだから、トンボの住める、あるいは渡りの場所であることは確かなのだ。いつか会える日を楽しみにしたい。

去る日、「光の丘水辺公園」（野比）の自然観察会に参加して、何種かの糸トンボに出会えた。水草に止まるキイトトンボは、透明感あるレモンイエローの体が浮き出すようだった。腹部の端に着いた帯を巻いたアオモンイトトンボや、スイレンの葉の上で連結するクロイトトンボなど、小さいながらインパクトを受けた。

地球上でたくさんたくさんの昆虫が繁栄できるのは、体が小さいからといわれる。小さいということは生活の場も小さくてよい。糸トンボも身のまわりで餌を採り、あまり長距離を飛ばないようだ。

トンボひとつを取りあげても多様な種が生息しているように、昆虫は小さく生きること種

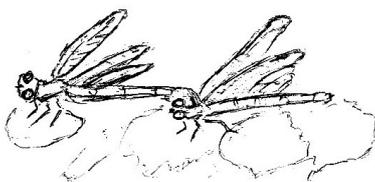
の分化を繰り返しながら、この地球上を生命で満ちあふれる世界にしてくれた。

その世界が、今、少し危うくなっている。田・畑・池・沼・草地が減り、河川の水質は悪化し、水辺は三面護岸に変えられた。トンボのヤゴをはじめとした水生昆虫の生きる場所は激減し、そこにあつた「食べる食べられるの関係性」も途切れてしまった。

特に化学物質による汚染は、ごく微量でも小さな生きものには致命的な作用となる。それがひいては、いろんなものに目を輝かせていた幼い子どもの体と心にも悪影響を及ぼすのではないか。単に危惧だけで終ればよいが…。

水の上を飛びまわるトンボやチョウを眺めながら、糸トンボのような小さな生きものたちが、おだやかに生きていかれる世界を願うのだった。

(2013 7/1・8/3 観察)



## 干潟の雑学(13)

### ガーデニングをするカサガイの話

小網代でも見られるカサガイの仲間のマツバガイは刺身にして食べるとアワビほどかたくなく、海藻の香りがして美味しいそうです。でも場所や季節を選ばないと当たるようです。三浦周辺ではカサガイ類をケーノミとかオチョンボリとか言って食用にしていたようです。

カサガイの仲間のうち、日本で見られるのはツタノハガイ科、ヨメガガサガイ科、シロガサガイ科、エンスカサガイ科、ユキノカサガイ科です。小網代の干潟の周りで見られるカサガイ類はヨメガカサガイ科のマツバガイ *Cellana nigrolineata* (Reeve,1839)とユキノカサガイ科のツボミガイ *Patelloida pygmaea form conulus* (Dunker,1861)、シボリガイ *Patelloida pygmaea* (Dunker,1860)、コウダカアオガイ *Nipponacmea concinna* (Lischke,1870)、などで、カサガイに非常に似ている有肺亜綱、カラマツガイ科のカラマツガイ *Siphonaria (Sacculosiphonaria) japonica* (Donovan,1824)、キクノハナガイ *Siphonaria (Anthosiphonaria) sirius* Pilsbry,1894 も見られます。



小網代のマツバガイ *Cellana nigrolineata* (Reeve,1839)

アメリカのコナーさんはカサガイが海藻のガーデニングを行っていることを調べています。

カサガイの仲間で *Lottia gigantea* (G.B.Sowerby I, 1834) は小網代湾の入口近くで見られるカモガイ *Lottia dorsuosa* (Gould, 1859) と同じ属のユキノカサガイ科です。殻の長さが10センチくらい(10-15年くらいの寿命)にもなる大きなカサガイのようで、アメリカでは owl limpet (フクロウカサガイ)、日本ではナスビカサガイなどと呼ばれることもあります。



小網代のコウダカアオガイ  
*Nipponacmea concinna* (Lischke,1870)

北アメリカの西海岸の潮間帯で普通に見られるカサガイのようです。そしてやはり草食性で帰巢性の *Collisella scabra*(Gould,1846) ( *Macklintockia scabra*, *Lottia scabra* とも、これらの学名はシノニム、英名はラフカサガイ rough limpet、殻長 2-4 センチ)と草食性で非帰巢性の *Collisella digitalis*



アカテガニ広場前の浜

イギリス海岸

アシ原

(Rathke,1833)(*Lottia digitalis* とも、和名はカモアシシロガイ、英名 ribbed limpet または fingered limpet、殻長 1.5-3.5 センチ、6年くらいの寿命)の3種のカサガイ、あと潮間帯上部で暮らす肉食性のアッキガイ科の巻貝 *Nucella emarginata*(Deshayes,1839)(和名シマチヂミボラ、殻長 2.5-3.0 センチ) について調べました。



マツバガイの腹側

巻貝類は岩の上などを這うときに粘液を分泌します。ナメクジが這ったときと同じです。潮間帯の岩の上にはカサガイ類が這った後には粘液のトレイルができています。4種の貝のそれぞれから粘液が集められ、粘液が微小藻類をよくくっつけるか、微小藻類の成長を刺激するかが調べられました。フクロウカサガイ、シマチヂミボラ、ラフカサガイの3種どれも同じように微小藻類を付着しましたがカモアシシロガイはわずかしか付着しませんでした。フクロウカサガイの粘液トレイルの上ではこの中で一番高いレベルの微小藻類の生物量があり、次がラ

フカサガイで、シマチヂミボラとカモアシシロガイではコントロールと同様でした。野外で調べられたことからフクロウカサガイとラフカサガイがカモアシシロガイよりもネバネバしたトレイルを持っていることがわかりました。また、野外において潮間帯の一番上の高潮帯と一番下の低潮帯で4種の粘液の残存時間が調べられ、高潮帯ではフクロウカサガイの粘液がより長く持続しました。低潮帯での残存時間はシマチヂミボラでの6.6日からラフカサガイでの4日でした。粘液タイプによるバクテリアの成長も調べられました。帰巢性の種であるフクロウカサガイとラフカサガイのトレイルはカモアシシロガイとシマチヂミボラのトレイルよりも高いバクテリアの成長速度を持っていました。また帰巢性のカサガイ種であるフクロウカサガイとラフカサガイの粘液は非帰巢性のカモアシシロガイの粘液よりも多くの炭水化物とタンパク質の粘液を含んでいました。微小藻類の成長を促進する粘液のトレイルは帰巢性のカサガイ種、フクロウカサガイとラフカサガイでだけ見られ、草食性であるが非帰巢性のカモアシシロガイと肉食性のシマチヂミボラでは微小藻類の成長を促進する粘液のトレイルを生産しませんでした。フクロウカサガイとラフカサガイは粘液産生にカモアシシロガイより多くのエネルギーを投資します。高いコストのトレイルは食物レベルを増産し、自身のトレイルをたどり直す帰巢性のカサガイ種においてこのタイプの戦略は効率的です。



草食性で帰巢性のカサガイ種フクロウカサガイ *Lottia gigantea* (G.B.Sowerby I, 1834)とラフカサガイ *Collisella scabra*(Gould,1846)はガーデニングをすることで効率的にエネルギーを得ているようです。このように帰巢性のカサガイ類は分泌する粘液のネバネバを強めてたくさんの微小藻類をくっつけて粘液のトレイル上に藻類の畑を作り、微小藻類の生産量を増やしているようです。

次は南アフリカのマックワイドさんとフローネマンさんの研究です。

ツタノハガイ科のカサガイ *Patella longicosta* Lamarck,1811 (和名トガリウノアシ、英名 star limpet, long-ribbed limpet、殻長5-9.5センチ)を使ってカサガイと微小藻類との相利共生を調べています。このカサガイは食物の微小藻類が育つようにアオサ類などが育ち過ぎないようにしたり、他のカサガイ類が入り込まないようにしたりするようです。そして微小藻類はカサガイと一緒に暮らすことでおよそ30%生産性が向上したそうです。さらにこのカサガイを取り除いた場所では侵入者のカサガイが庭にある微小藻類を食べつくしてしまったそうです。

さらに南アフリカのプラガニーさんとブランチさんの研究では。

カサガイ *Patella cochlear* は自分で作った藻類の庭に肥料を施しているの？

*Patella cochlear* Krauss,1848 はツタノハガイ科のカサガイで殻長2.5-7.0センチの和名ニチリンカサというらしいです。ここでは潮間帯のカサガイ *Patella cochlear* (ニチリンカサ) による栄養素再生がその藻類の庭の生産性を向上させるのかが調べられています。ニチリンカサによる窒素の排出量が干潮時に尿素とアンモニウム濃度を測定することによって調べられました。(カサガイによる排出と藻類による取り込みを同位体希薄法で) 干潮時間に窒素の排出(尿素とアンモニウム)が周囲の藻類の庭の近くでニチリンカサの殻の下に蓄積しました。この研究ではニチリンカサがその藻類の庭を耕し、そして肥料を与えるレベルが藻類の生産性を向上させるのに十分であることを示しています。

カサガイの多くの仲間はヘルマフロディティズム(両性具有)です。思春期？まで成長するとまずオスとして体が発達します。成熟したオスのカサガイは美しいメスのカサガイを追いかける事もなく岩の上でのんびりと過ごしており、頃合を見て精巣を発達させて海中に多量の精子を放します。カサガイは大きくなるにつれ、オスの自我が少しずつなくなり、メスの性格が芽生えてきます。そしてしばらくの間オスとメスの間で揺れ動き、やがてオスでいるなんて所詮つまらないと思い、残りの人生？をメスとして送ろうと決心するようです。

ガーデニングをし、静かに暮らすカサガイ、今回はカサガイ類によるガーデニングの話でしたが海岸や干潟に暮らす生き物はお互いに影響し合いながら暮らしています。小網代の干潟でも生き物をよく観察してみるといろいろな不思議が見えてきます。

(小倉雅實)

**参考資料:** 海の味—異色の食習慣探訪—、山下欣二著、八坂書房、1998

日本貝類方言集、川名興、未来社、1988

千葉生物誌 24(1,2) 千葉県生物学会、1975

三浦半島の民俗 I 神奈川県民俗調査報告④、神奈川県立博物館、1971

アメリカのコナーさんの研究。

南アフリカのマックワイドさんとフローネマンさんの研究。

南アフリカのプラガニーさんとブランチさんの研究。

文明とカサガイ、マーティン ウェルズ、(長野敬、野村尚子 訳)、青土社、1999

## 小網代を詩う

我が世とぞ

中井 由実

クズの蔓とミゾソバとジュズ玉が絡み合い  
谷を濃い緑一色にうめている  
風に揺さぶられ  
うねり返し重なる様は  
緑の海原のようだ

その波立つ海面へ  
ミンミンゼミが  
ツクツクホウシが  
ニイニイゼミが その声が  
ふくれあがりもつれ合つて  
雪崩て落ちる  
また 落ちる 繰り返し  
この夏 永遠なりと  
短い命が謳い続ける

小網代の森に満ちるその音が  
人から  
近づく秋の足音を消し去る



蝶の咲く木

中井 由実

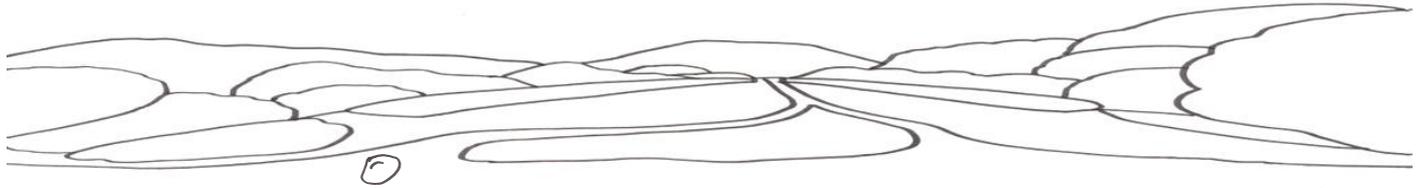
開かれた森は  
いろいろな所で  
新しい顔を見せてくれる  
今日は 広場の向こう  
人の手の届かない所で  
クサギの大木が枝を広げている  
今の季節は花ざかり  
目を見張るほどの数のモンキアゲハを止まらせ  
蝶の咲く木になっている

ヤドカリ行進

中井 由実

さわさわ さわさわと  
ヤドカリが右に向かって歩く  
さわさわ さわさわと  
ヤドカリが左の方へと動く  
小網代湾奥の潮と  
裏の川の水が交わって  
流れが入り組むイギリス海岸前  
6人の人間が立ち止まりのぞき込む足元で  
6万匹のヤドカリが  
流れの向きをみて進む  
小さくて豊かな干潟の営み

## ハマのカンゾウ 昨日のことは まあいいってことよ



ジポーリン菜穂子

待ちに待った森のオープンの日が、先々月、ついにやってまいりました。あれから、みなさま、何度、森を行き来なさいましたか。森に集ういのちは、訪れるたびに、違った表情を見せてくれますね。浦の川の流れに沿って道を降りていく道々にも、小さくて可愛らしい花が咲いています。「やなぎテラス」のあたりから、いよいよ潮の匂いがしてきますね。「下流大湿地」をずっと行くと、「えのきテラス」。ここから、小網代湾がよく見渡せます。みなさま、「えのきテラス」のあたりで、フランスのジベルニーのような場所がありますよ。私はひそかに「こあじろジベルニー」と呼んでいます。ジベルニーは、フランス印象派の画家クロード・モネの晩年の住まいとアトリエがあったところ。そして、日本趣味だったモネは、このジベルニーのお庭の池に、日本風の丸い橋を懸けていました。その橋と睡蓮と。そんなモネの絵に、そっくりな場所が。「えのきテラス」あたりに、あるんです。さあ、どこでしょう。すぐわかりますよ。

ジベルニーの池では睡蓮が咲いていますが、「えのきテラス」で、楚々と艶やかに咲いているのは、ハマカンゾウです。浜辺に咲く萱草<sup>かんそう</sup>。世界のあちこちで可憐な姿を見せてくれますが、もともとは中国からだそう。北米でも、とっても愛されています。だから、北米産のお花だと、北米のみなさんは、信じていますよ。あちらでの名前はデイリリィ。一日で、花が終わってしまうから。一日百合。ひとひユリでしょうか、それとも、いちじつユリかしら。夏の間のファーマーズマーケットで、色とりどりの農作物の横に、デイリリィもたくさん売られています。抱えきれないほどの束で5ドルくらい。なるべく花がたくさん咲いている束を選ぼうとすると、チェックのよれよれフランネルシャツにジーンズのおじさんが出てきて、だめ出し。一日で花は終わるから、そんなの選んだらダメだよ。荅をさがすんだ。なるほど。



学名での分類はヘメロカリス(Hemerocallis)属。ギリシャ語です。ヘメラ(ἡμέρα)は、現代ギリシャ語ではハアメラと発音。メにアクセント。これが「日」。カリス(καλός)は、「美」です。ふうーん。日本では、ワスレグサ属という名前。ユリ科ワスレグサ属のお仲間には、ほかにヤマカンゾウ、ノカンゾウ、あるいは、ヤブカンゾウ。キスゲもお仲間。ニッコウキスゲとか。尾瀬のニッコウキスゲか、小網代のハマカンゾウか。ってね。はたまた、尾瀬の岩塔々原<sup>がんだうがはら</sup>か、小網代の下流大湿地か。尾瀬の岩塔々原の発見者、西丸震哉先生は、日本の誇る湿原探検家ですが、湿原は日本のこころのふるさとだと生前、常々述べていらっしやいましたね。そのくだり、引用してみます。往年のブルーガイドの『尾瀬』です。ガイドブックなのに、名著ってやつです。ガイドブックは1年でも古いと、価値はなくなってしまうますが、この『尾瀬』は古本でも、結構なお値段がついていますよ。さて、その出だし。

どうやら、日本人が抱いているところの安住の地というものは、しっかりと水分に満ちたところのようだ。・・・（中略）・・・もし民族の移動をしてきたとすると、きっと沙漠やサバンナのような地は、本能的に嫌ってさっさと素通りして、湿気の多いところを求めて歩いたあげく、雨の多いこの島にたどりついて、ここだここだと大よろこびで定着してしまったのではないかなあと思う。

ブルーガイド。懐かしいでしょ。私は、よくお世話になりましたが、ガイドブックには、目もくれず、50万分の1の地図ばかりを頼りにする派もいました。50万分の1の地図も怪しいよって言えちゃうのは、かなりの地形リテラシー派。身体で地形を覚えちゃう感じちゃうってステキです。原始人みたい。あこがれる。で、西丸先生によると、湿原は、大広間とかではなく「そう、小ちんまりした、部屋ならば四畳半」なんだそう。たしかに、落ち着く、落ち着く。四畳半なら、身体感覚にも、ぴったりきます。そして、森に囲まれているので、「そこだけが底ぬけに明るく、とくに晴れた日は、光がいっぱいにあふれ草の上をころげまわるのだ」そうです。それから、湿原はバッハのようだと。あのドイツの大作作曲家のバッハです。ぜひ、全文をお読みになってみて。で、尾瀬には行ったつもり。すこし遠いですが。でも、わたしたちの小網代、あの赤い翼の京急に乗れば、都会からでもすぐですよ、まさに、『奇跡の自然』ですね。

さて、ハマカンゾウのカンゾウは、中国語の萱草、あるいは諼草の日本語読み。諼は「忘れる」の意味です。まさに、ワスレグサ、忘れ草の音読みがカンゾウというわけですね。この諼草、中国最古の詩篇の『詩経』に登場しています。『詩経』は、四書五経のひとつ。四書は、『大学』『中庸』『論語』『孟子』。五経が『詩経』『書経』『礼記』『易経』『春秋』。この『詩経』の「伯兮」という詩に諼草が詠まれています。戦さに出かけた夫が心配で心配で。「伯」は、夫のこと。伯兮掲兮（伯の掲<sup>けつ</sup>なるや）と始まります。私の夫は、とっても強いんだけど、それは、国が誇りにするぐらいなのだけ。それでも、やっぱり心配でたまらない。そして、この奥さま、どうなさったか、というと。

焉得諼草	焉にか諼草を得て
言樹之背	言に之を背に樹ゑん
願言思伯	願に言に伯を思へば
使我心瘳	我が心をして瘳やましむ

ワスレグサを手に入れて、背（奥方のいる場所、北堂とも呼ばれます）に植えましょ。だって、夫のことを考えだしてしまうと、もう心配でたまらないから。どうやら、萱草は、憂いを忘れさせてくれる、と考えられていたようなのです。ひと日たてば、花とともに、憂いもいっしょに持っていつてくれる、ということでしょうか。あるいは、萱草の生薬としての効用かもしれません。花があまりに愛らしいので、憂いを忘れてしまうのかもしれないね。昔の住居で「背」とか「北堂」というと、そのおうちの奥さまの住まいのこと。

松尾芭蕉は『野ざらし紀行』で、この北堂の萱草の触れ、自分の気持ちを表しています。芭蕉のお母様も、『詩経』の伯の奥さまのように、いつもいる場所の前に萱草を植えていらしたのでしょうか。あるいは、文学上のメタファーかもしれません。芭蕉は、久しぶりに伊賀の実家にも

どります。時は秋。

長月の初、故郷に帰りて、北堂の萱草も霜枯果て、今は跡だになし。  
何事も昔に替りて、同胞の鬢白く、眉皺寄て、只命有て、とのみ云て  
言葉はなきに・・・。

ここでは、「北堂の萱草」は、芭蕉のお母様。つまり、実家にもどったときには、もう遅かりし、というわけです。それで、兄弟とは、せめて、僕たちだけでも生きて会えてよかったと泪するのですね。このとき、芭蕉、41歳。アラフォーです。ひょっとして、人類は不老不死を手にいれつつあるのでしょうか。

さて『詩経』から始まり、中国では萱草は、憂いを忘れさせてくれるものでした。もちろん、日本にも、それは伝わったようで、忘れさせてくれる花、というのは、『万葉集』から始まり、歌集によく謳われています。『後撰和歌集』（10世紀頃成立か）ではこんなかんじ。

我がためは 見るかひもなし 忘れ草  
わするばかりの 恋にしあらねば ←☆

私としてはね。<sup>ワスレグサ</sup>萱草の美しい花を見たって、しようがない。忘れるような恋なんて、してないんだよ。<sup>きののはせお</sup>紀長谷雄（845-912）の歌です。すごい！情念が渦巻く！それで、この和歌、しばらくの間だけ覚えておいてください。

『万葉集』ではこんなかんじ。

忘れ草 我が下紐に 付けたれど  
醜しこの醜草しこぐさ 言ことにしありけり

<sup>ワスレグサ</sup>萱草を下着につけたけど、あなたのことが忘れられない。おバカ草、効能は言葉だけだよ、というもの。あんなに可愛らしい花におアホとかひどすぎる！！そのくらい、恋しい気持ちだったのですね。忘れたいくらいの。大伴旅人(665-731)が、のちの妻となる坂上<sup>さかのうえのおおいらつめ</sup>大嬢に贈った歌です。それにしても、下着につけちゃうっていうのも、なんだかカンゾウ、かわいそう。

ところで、忘れさせてねっていうのは、古代人、忘れ草に頼るばかりではありませんでした。やっぱり、海なんですよ。同じく『万葉集』に。

我が背子に 恋ふれば苦し 暇あらば  
拾ひて行かむ 恋忘れ貝 ←☆☆

先の大伴旅人の異母妹、大伴坂上<sup>さかのうえのいらつめ</sup>郎女の作です。（奥様になられた方はおおいらつめ。こちらはいらつめ）あのお方が恋しくて苦しい。時間があったら、拾っていこう。恋を忘れられるという恋忘れ貝を。恋しい気持ちを貝に託すのですね。マルスダレガイ科のワスレガイは、こういった和歌からとられた名前だそうです。あとづけです。古代歌人は、とにかくきれいな二枚貝をワスレガイとしていた、ということらしいのですが。



## カニグッズ 12

### ◆ 生活用品にみるかにの意匠 その2 (マグネット&木製品など)



#### 24. かにのマグネット

100円ショップを覗いていたらかにの姿のままの大皿料理を見つけました。コーンとインゲンもついていて美味しそう。しばし、想像の味わいができました。



#### 25. 貝殻かに?

貝殻に木製のカニの手やはさみをつけたマグネット  
どこで見つけたかは覚えてないのですが、城ヶ島のような海の観光地でゲットのはず!



#### 26. 一番天国に近い国で生まれたかにのマグネット

代表の伸さんが娘さんがいるからと会いに出かけた島からのお土産に頂いたものです。  
伸さんいわく……  
南の島は天国に一番近い島の近くのバヌアツです。バンジージャンプ発祥の島ですがカニマグネットは覚えてないなあ、ぼけたかな。



#### 27. かにのレターラック

神奈川県民活動サポートセンターに調整会議の件でよく行っていた頃、だから2000年前後、ともしびショップという、障害を持った方々の作業所で作られた製品を集めた店が開設されておりました。カニグッズがないかと良く覗いていた時、目に留まりました。即、購入。かにの絵柄の葉書などがいれてあります。



#### 28. 何故かキャットのメロデーを奏でながら歩くかに!

同僚の仕事机の上で発見! 娘さんが学校の教材で作ったとのこと。  
今ではあまり歩かなくなりましたが、キャットのオルゴールだけは聞こえます。無理無理、譲っていただきました。



#### 29. かにのテープカッター

神奈川県民活動サポートセンターの展示室で個展をしていた方の作品です。えんじゅという木で作ってあるので芯と外皮との対比が面白いものです。北海道のお土産の木製品にある木と同じかもしれません。購入した時は目の玉が飛び出しました。今ははさみの片方が飛び出しています。



#### 30. アボリジニのかにのコースター

会員のKさんが学会でオーストラリアに行った折に求めてくださったもの。ここにまでお前さんたちの芸術のスタイルが貫かれていることに感動した一品です。裏に1998年3月18日とありました。

カニグッズ収集家 宮本美織

#### 赤い沼、再び。

いよいよ、森がオープンになりました。以前に、森の中に赤い沼が現れたことがあり、大きくなったり、小さくなったりしていました。どうなったかなあ、と思っていましたが、今も、ちゃんとありました。

浦の川にあって、いちご川にないものがあります。一年を通じて探していましたが、今のところ見つかっていません。それが、この、赤い沼です。この赤い沼の正体は、鉄バクテリアです。もともと鉄分の多い土は、酸化して赤くなりますが、鉄バクテリアが鉄分を食べることによって、より赤くなるそうです。裏磐梯の五色沼も同じです。赤いどろどろになっているところもあれば、まるで、油が浮かんでいるように、虹色に光っているところもあります。それから、泡がぶくぶくしているところもあります。すべて、鉄バクテリアが活動しているしるしです。浦の川では、赤どろも、虹色でらでらも、泡ぶくぶくも、すべて見ることができます。そして、この鉄バクテリアは、水をきれいにしてくれる作用があるのです。大学、研究所、水道局などでも、研究をすすめているそうです。なんか、どろどろなのに、実は、きれいな水のもとなのです。シェイクスピアの『マクベス』を習ったとき、魔女のせりふに「きれいはきたない。きたないはきれい。」“Fair is foul, and foul is fair.” なんていうセリフがありました。小網代で遊んでいなかったら、この意味はわからなかったかもしれないなあ、と思います。

7月20日のウォーキングで、赤いどろや、虹でらを見た人が、やっぱり、こういうところでも、油が流れてきちゃうのね。しょうがないわよ、東京から近いんだし、と言っている声を聞きました。でも、それはちがいます！そういうことはありません。このでらでらがあるからこそ、水がきれいになっているのです。浦の川の水質を調べたことがあります、かなり澄んでいます。

いちご川には、泡みたいなのが、時々見られます。ひよっとすると、鉄バクかもしれないし、いずれ、調べてみたいと思っています。前々回書いたように、いちご川では、水をきれいにしてるのは、バナナなめくじです。いちご川が流れていくサンフランシスコ湾は、2013年2月にラムサール湿地になりました。小網代もきっともうすぐですね！

ジポーリン周樞

## 小網代の森と干潟を守る会の活動

- 7.27 小網代 森と干潟つうしん No.135 印刷発送（於 横須賀市立 市民活動サポートセンター）
- 7.27 スタッフ会（於 横須賀市立 市民活動サポートセンター）
- 8.30 第25回小網代の森と干潟を守る会総会  
議事終了後、第二部で25周年記念森歩きを実施（参加者 21名）
- 9.2 （公財）かながわトラストみどり財団へ小網代緑地保全へとして20万円を寄付

## ご寄付ありがとうございます

森の応援金 鈴木慶子様 吉永浩三様 鈴木久夫様 杉崎泰章様 野内博様  
吉田茂様 前田信二様

会の活動費 宮本美織様 祖父川精治様 鈴木カヲル様 野内博様 関口広隆様  
吉村順子様

以上の方からご寄付をいただきました、ありがとうございます

## 第 122 回自然観察&クリーンのお知らせ

### ◆今、小網代の植物が面白い！

20年ほど前、小網代の森で時々見かけた植物もその後の森の乾燥化などでいつの間にか姿を消した花もたくさんあります。

ところが、7月20日にオープンした小網代の森では、所処に湿地を取り戻し“皆様、大変お待たせいたしました〜”とばかり、かつて浦の川に沿った道での観察とは違う植物達が新たなステージで来訪の皆さんをお待ちしております。

サア〜どんな花と虫たちに出会えるか楽しみです。

日 時：10月25日（土）

集 合：10:00 京浜急行三崎口駅改札前(トイレがありませんので必ず駅で済ませてください)

解 散：14:00 ころ 現地解散

参加費：無 料

講 師：鈴木清市氏

申し込み：当日現地で受け付けします

持 ち 物：お弁当、飲み物、軍手、雨具、  
あれば図鑑、双眼鏡など観察用具  
小さなお子様は着替えもあると安心です。

お問合せ：046-889-0067(仲澤)



## トラスト緑地保全支援会員のおすすめ

### ◆トラスト緑地保全支援会員になるには

トラスト財団のパンフレットにある申込書に記入して郵送します。またはトラスト財団のホームページ (<http://ktm.or.jp>) から、申し込むことができます。支援したい緑地にはぜひ「小網代の森」をお選びください。通常のトラスト会費(大人 2000 円、中高生 1000 円、小学生 500 円、家族会員 3000 円)の他に 3000 円の支援会員会費が必要です。小網代の森をよろしく願います。

## 新入会員募集のお知らせ

小網代の森と干潟を守る会への入会を希望される方は、下記の口座に年間会費をお振込みください。その際、通信欄に「入会希望」とお書き下さい。入会金は不要です。

年間会費(2013年7月～2014年6月)は、通常の会員は1,000円、賛助会員は5,000円で、いずれも振替料金のご負担をお願いしております。

口座：郵便振替(00の払込取扱票) 00260-4-21569 小網代の森と干潟を守る会

\* 小網代の森と干潟を守る会の入会は随時受け付けておりますが、会員年度は7月から翌年の6月末までとなります。中途入会の方には会報「小網代 森と干潟つうしん」のバックナンバーをお送りします。またメールアドレスをお書きいただいた方には会員専用ページのIDとパスワードをお知らせします。

小網代 森と干潟つうしん NO.136 2014年9月27日発行

森も海も干潟も 奇跡の集水域生態系を未来の子どもたちへ

小網代の森と干潟を守る会

〒238-0111 神奈川県三浦市初声町下宮田 261-5

代表 高橋 伸和 E-mail: [info@koajiro-higata.com](mailto:info@koajiro-higata.com)

電話 046-889-0067(副代表 仲澤)

URL: <http://www.koajiro-higata.com>

年会費: 一般会員¥1000 賛助会員¥5000(7月～6月 入会金不要)

郵便振替 口座 00260-4-21569 加入者名 小網代の森と干潟を守る会

\* 既に退会のご連絡をいただいた方にも年度末(6月末)までお届けしております